



(第7期)まつもと子ども未来委員会

平和の集いの報告

令和3年8月31日

8月15日にあがたの森にて、松本市平和祈念式典・平和の集いが開催されました。事前に立候補してくれた8人が、未来委員会の代表として、平和の実現に向けたメッセージを発表しました。



「平和の集い」でのメッセージ発表について

青木 萌香さん、石田 矜華さん、伊藤 英怜奈さん、大沢 朱夏さん、大澤 悠さん、小池 智之さん、高岡 瑞希さん、滝沢 智貴さんの8人が発表を行いました。

発表は、未来委員会の紹介を行った後、「平和の実現を願って」というタイトルで、委員会の時に調べた内容や話し合ったことをまとめたものを発表しました。

未来委員会について

- まつもと子ども未来委員会とは
- 未来委員会のマークについて
- 未来委員会7か条について
- 第7期の未来委員会について



戦争による子どもへの被害

- 食糧不足による栄養失調、難民や疎開によって家族と離れ離れになってしまう。
- 無理やり子ども兵にされてしまう少年少女が、25万人以上いる。
- 黒い雨による健康被害は、76年たった今も議論されている。
- 同世代の子ども6人に1人が、何らかの形で戦争に巻き込まれている。

平和の実現のために必要なこと

- 学校に通って勉強できたり、毎日ご飯を食べられることは、日本では当たり前なことかもしれないけれど、当たり前でない国や地域がある。
- 平和は当たり前なことではないということを認識すること、平和でなくなったらどうなるのかを考えること、平和の尊さ、大切さ、戦争の怖さを理解すること。

平和の実現に課題となっていること

- 自分たちの利益を優先していて、争いや紛争が絶えない。
- 平和そのものがあいまいなため、考えにくく、実生活と結びつけにくい。
- 人それぞれ考え方や文化は違うのに、それを差別しあってしまう人々がいる。



平和の実現のために自分たちができること

- 偏った情報に惑わされずに、自分の意見を伝え考える。
- 差別をせず、相手を認め、相手の意見を否定しない。人権教育として平和を考える機会を作ること。
- いろいろな人の意見を聞き、自分の意見を伝えることが大切。
- 戦争や平和について少しでも考えることが、平和に近づく第一歩。

戦争による子どもへの被害



- 食糧不足による**栄養失調**
- **家族と離れてしまう**（難民 疎開など）
- 19ヶ国で約25万人以上の「**少年少女**」が、誘拐や強要により武器を持って「**子ども兵**」となっている
- **教育環境が整わない**



平和の実現のために必要なこと



「平和」ってなに？



- 教育を受けられること？
- 毎日ご飯を食べられること？
- 安心して暮らせる家があること？
- 差別がないこと？



リハーサルで、立ち位置や話すスピード、声の大きさなどを調整して発表に備えました。本番はとも聞きやすく、上手な発表ができました！

その後、戦場カメラマンの渡辺陽一さんの講演をお聞きして、終了しました。